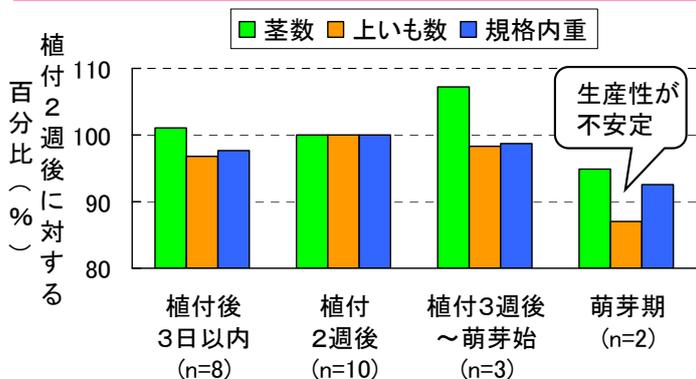


# 馬鈴しょ早期培土栽培の生産安定化

## 培土の施工適期は 植付後～萌芽始



ただし、**培土のひび割れ**が多いと品質低下（緑化の増加）や、規格内重が低下しやすい。  
培土のひび割れが発生しやすいのは、  
①高い土壌水分に培土したとき  
②培土後2日以内に多量の降雨があったとき、  
③培土の土量の不足や、培土が崩れたとき。

## 茎密度による生産診断

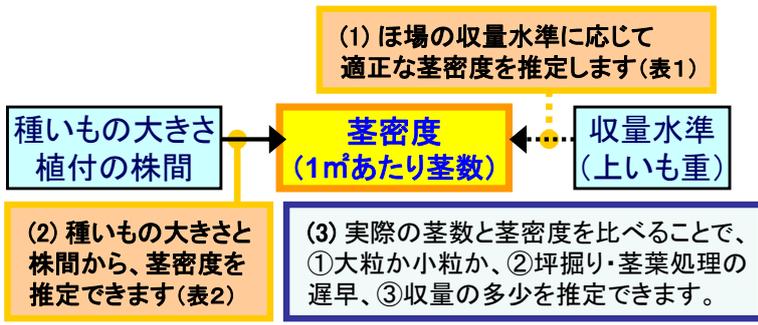


表1 収量水準と適正な茎密度の関係

品種名	収量水準 (t/10a)	規格内重が最大となる茎密度 (/m <sup>2</sup> )				同左 上いも 1個重 (g)	規格内の範囲
		4.0	4.5	5.0	5.5		
男爵薯	15	17~18				92~98	60~260g
メークイン	12	14~15	17~18			103~104	
マチルダ	11	13	16			71	40~190g
トヨシロ	10~11	12	14	16~17		101	60~340g
きたひめ	11~12	14~16	18~21			101~110	
スノーデン	13~14	16	18~19			98	
さやか	8	9~10	11~12			112~116	
ホッカイコガネ	9	11	13	15~16		122	

注) 目標収量水準は過去の生産履歴などから、決定して下さい。  
種いも栽培など、規格内の範囲が異なる場合にはこの表は利用できません。

## 培土施工後のひび割れ



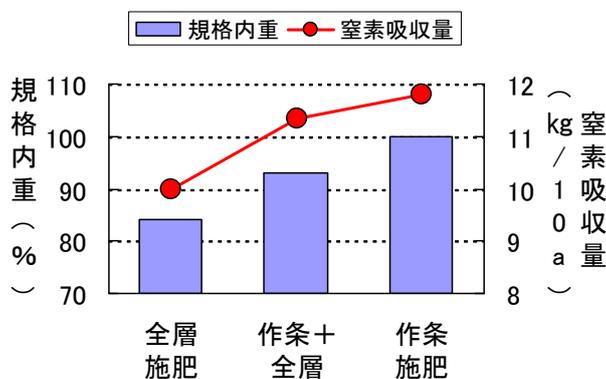
培土が崩れたり、土量不足のときには、培土のかけ直しが有効ですよ。

表2 種いもの大きさおよび株間と茎密度の関係

品種名	種いもの大きさ (g)	株間 (cm)					
		24	27	30	33	36	40
男爵薯	40	21	19	17	15	14	12
	50	24	21	19	17	16	14
	60	27	24	21	19	18	16
メークイン	40	22	19	17	16	15	13
	50	25	22	20	18	17	15
	60	27	24	22	20	18	16
マチルダ	40	21	19	17	15	13	12
	50	24	21	19	17	15	14
	60	27	23	21	19	17	15
トヨシロ	40	16	14	13	11	10	9
	50	17	15	14	13	12	10
	60	19	17	15	14	12	11
きたひめ	40	14	12	11	10	9	8
	50	16	14	12	11	10	9
	60	17	15	13	12	11	10
スノーデン	40	20	18	16	15	14	12
	50	24	22	20	18	16	15
	60	27	24	22	20	18	17
さやか	40	9	8	7	7	6	6
	50	10	9	8	7	7	6
	60	10	9	8	8	7	6
ホッカイコガネ	40	18	16	14	13	12	11
	50	20	18	16	15	14	12
	60	21	19	17	16	15	13

注) 2週間程度浴光催芽した場合の試算で、誤差は1本程度である。

## 施肥法は 作条施肥が最も多収



全層施肥は、春先の省力化には有効ですが、作条施肥より窒素吸収量が少なく、規格内重が劣ります。

